

# 緑化だより

No.49 平成22年4月号



コバノミツバツツジ 平成21年4月26日撮影

○きのこユーモラスネーミング  
○植物と歴史  
○花だより

○研修会・イベント報告  
○研修会・イベント紹介  
○お知らせ・ご案内

**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町 166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)



# きのこのユーモラスネーミング

## 外国編(1) 『Artist's fungus 画家のきのこ』

きのこの名前は、世界共通の学名と、各国で異なった名前(日本では和名と言われている)と2通りあります。その他日本では方言名もあります。今月からは外国(欧米)で使われているユーモラスな英名をとりあげていきます。

『画家のきのこ』と呼ばれているのは日本ではコフキササルノコシカケのことです。このような硬いきのこは『猿の腰掛けの仲間』と呼んできましたが欧米の発想は異なるようです。

表面の様子が、画家が描いたように芸術的であるためなのか、あるいは、傘の裏の孔口の部分が黄白色で、傷をつけると暗褐色に変色することから、画家がキャンパスに何かを描けることに結び付けたのかは定かではありません。

コフキササルノコシカケは主に広葉樹の枯れ木に発生しますが、街路樹や庭木に発生するので身近に見ることができます。多年生なのでよく育つと50cm以上になることもあります。

1970年国立がんセンターの動物実験では、制ガン作用の有効性が高いとされていますが、人間に対しても同様の結果が表れるのかどうかは分かりません。



コフキササルノコシカケ

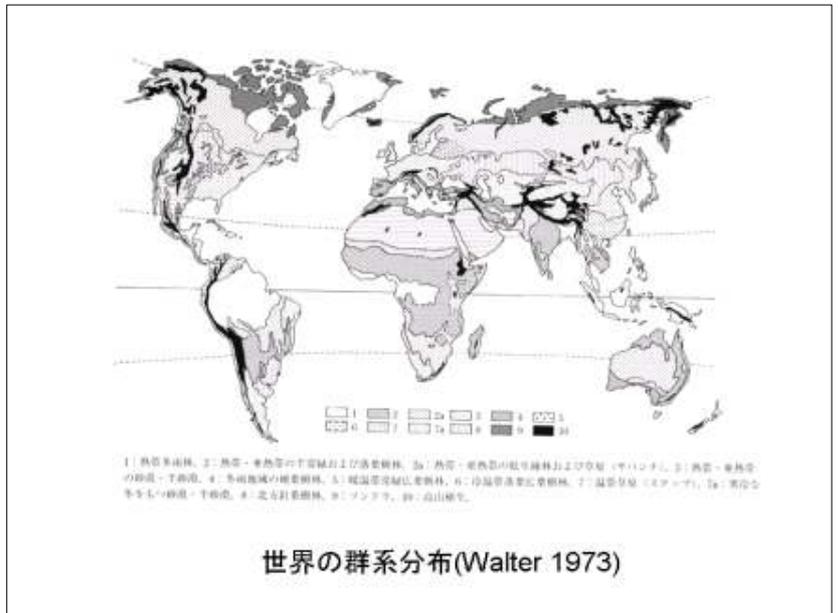
## 植物と歴史

### 『現存植物群の分布とブナ』

地球上の陸地は、表面積の約30%で、残りの約70%は海になります。その30%しかない陸地の中で約1/3(地球全体の9.7%)が森林になります。森林の中で大半を占めているのが熱帯多雨林で、次いでブナ林になります。ブナ林の分布は北半球だけで、南半球にはありません。

熱帯多雨林は、全て常緑の植物で真っ直ぐ伸びるのが特徴です。そしてツル植物が非常に繁茂し、樹木には着生植物が多く付きます。

植物は、葉があると生活に不都合な時期がある場合に落葉しますが、熱帯多雨林地域においては、年間降水量が2,000~2,500mmと月に200mmと多くの雨が降りますし、年平均気温が26度から28度と非常に暑く、植物にとって生育に不適な環境期間がないことから葉を落とす必要はなく、成長を続けます。ブナは冬には葉を落としますが、これは寒さから逃れるためなのです。また、タイやビルマなどの地域では乾季があり、乾季に入ると土壌に水分がなくなるため葉を落とし休眠状態に入ることによって、乾燥害から逃れています。一方、日本のシイ・カシ林は常緑であり、シイ・カシ林の成立しているところは、葉を落とすまで気温は下がらないですし、降水量もあるので常緑のままです。



# 花だより

**ザイフリボク** バラ科ザイフリボク属

山道などを歩く時、植物を見つけやすい時期があります。花が咲いている時期や新葉が展開する時期、実が結実している時期など、種類によって違いますが、**ザイフリボク**は花の時期が最も見つけやすい時期です。

4～5月に枝先に白い花を沢山付け、遠くから見ると雪が積もっているようにも見えます。雪が積もっているように見えると言えば、**なんじゃもんじゃ**(**ヒツバタゴ**)も花期(5月上旬)には真っ白に見えますが、それにも負けずとも劣らないほど、真っ白に見えます。花は10個ぐらいが集まって咲き、花弁は5枚で長さ1～1.5cmの線形、雄しべは約20個で花柱は5個あり、花や花序の様子を采配に見立てて**さいふりぼく**という名が付けられたようです。

采配は、戦場で軍勢を率いる際に用いた指揮具で10尺ほどの柄に千切りの紙片や獣毛などを細長く垂らしたもので、振って合図を送るために用いられました。江戸時代に豪華な意匠が施されはじめ、形式化されてくると、武将の肖像画とともに描かれることが増えたようです。

別名**シデザクラ**・**ニレザクラ**とも言われ、**シデザクラ**は、花の様子を玉串などにつける四手やお祓いの時に使用する大麻(おおぬさ)、祓串(はらえぐし)などにつける四手に見立てて付けられた他、**ニレザクラ**は、葉がニレに似ていることから付けられました。

緑化センターでは、林内・芝生広場・ファミリー広場などで見られます。



ザイフリボクの花 H21.4.22



采配

大百科事典第十巻:1932年平凡社発行



ザイフリボク開花(遠景)  
H17.4.26

## 研修会・イベント報告

3月7日(日) 『**接ぎ木や挿し木を学ぼう**』

暖かくなり樹木の芽もふくらみはじめたと思ったら、肌寒く鈍よりした曇り空の中、33名が参加して「接ぎ木や挿し木を学ぼう」の研修会が行われました。

まず、樹木の殖やし方、接木の生理的な仕組み、接ぎ木の利点などの説明があり、実技に移りました。参加者全員が切出しナイフを使って、台木や穂木を削る練習をしましたが、思うように出来ないで四苦八苦する人が多く見受けられました。技術を習得しようと熱心に取り組んでいました。

その後、ヒガンザクラを台木、ジュウガツザクラを穂木として、参加者全員が接ぎ木の実技を行いました。最後に他の樹木の接ぎ木時期や取り木、挿し木の繁殖などについての質問があり、参加者の興味深さが感じられました。受講者の方々が持ち帰られた接ぎ木に新芽がでて、成功するかどうかを楽しみながら待つばかりです。



接ぎ木や挿し木を学ぼう 研修会状況

# 研修会・イベント紹介

- 4月3日(土)『**早春の花を見て歩こう**』10:00～12:00 管理事務所前集合  
園内を歩きながら早春に咲く花を中心に植物観察をしながら散策します。  
講師:植物研究家 清藤 徹 先生
- 4月8日(木)『**春の写真教室**』10:00～12:00 学習室集合 カメラ持参  
春の花を上手に撮影する方法など説明した後、外に出て撮影会を行います。撮影のコツを習得し、写真コンクールに応募されてはいかがでしょうか。  
講師:二科会会友 宗岡 泰昭 先生
- 4月9日(金)『**4月の自然探勝**』10:00～12:00 管理事務所前集合  
園内を歩きながら、植物観察を行います。桜の花を中心に春を感じてみませんか。  
講師:広島大学名誉教授 石橋 昇 先生
- 4月18日(日)『**愉快的植物雑学と八重桜めぐり**』10:00～12:00 学習室集合  
植物について様々な雑学を学んだ後、八重桜を中心に植物観察を行います。  
講師:森林インストラクター 長井 稔 先生
- 4月20日(火)『**はじめてのデジカメ教室**』10:00～12:00 学習室集合(カメラ持参)  
コンパクトデジタルカメラの使い方や上手に撮影する方法など学びます。  
講師:写真家 大藤 哲己 先生
- 4月22日(木)『**山菜を学んで食べよう**』10:00～12:00 学習室集合(要予約)  
山菜について学習し、試食会を行います。春を味わってみませんか。  
講師:ひろしま可憐花会 井川 宏子 先生

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

- ◎ **さくら祭り** 4月1日(木)～29日(祝・木)は『**さくら祭り**』です。期間内は、さくらに関する催しや研修会など予定しています。11日(日)はレストハウス前でイベントを開催いたします。
- ◎ **みどりの集い** 10時～15時:多目的広場他  
毎年恒例、4月29日(祝)は『**みどりの集い**』を開催いたします。お子様から大人まで楽しめる緑に触れるイベントがいっぱいです。皆様のお越しをお待ちしております。
- ◎ **希少野鳥の剥製展示** 林業技術センターで展示されていた貴重な野鳥の剥製を緑化センターが引き取り、学習展示館で展示をはじめました。クマタカやオオタカ、エゾライチョウなど貴重な剥製がありますので是非ご覧下さい。
- ◎ **展示会のお知らせ** 展示場所:レストハウス
  - 緑化センターの野鳥の巣展** 3月6日(土)～5月7日(金)  
緑化センター内で野鳥が実際に作成し利用した巣を展示します。
  - 緑化センターのサクラ写真展** 3月25日(木)～4月23日(金)  
緑化センター内で撮影したサクラの写真を展示します。お花見とともにお楽しみ下さい。
- ◎ **臨時開園のお知らせ**  
4,5月は、**毎日開園**しますので、休園日はありません。
- ◎ **緑化センターオリジナルカレンダーについて**  
写真コンクールの入賞作品を使用した平成22年度のオリジナルカレンダーをレストハウス・管理事務所において無料で配布しています。数に限りがありますので、お早めどうぞ。